

釧路市家庭教育通信
思いをつなぎ
思いをむすび
思いをつむぐ
家庭教育通信

Hug

Kumi

はぐくみ

釧路市教育委員会では、釧路市の子どもたちが健やかに成長することを目指して、様々な活動を行っています。目の前にいるお子さんの状態や発達段階に応じて、親がどのように関わり環境を整えることが望ましいのか、家庭教育講座の開催や、お便り「はぐくみ」を通して、ご家庭における子育てに関する情報をお伝えしたいと考えております。

発行者：
釧路市家庭教育支援チーム
発行日：
令和7年12月15日
第26号

くしろっ子 共に育てる 10か条

子どもたちを地域全体で育てるために、釧路市教育委員会と釧路市PTA連合会が協議した上で、大切にしたい合言葉「くしろっ子 共に育てる 10か条」を作成しています。子育てに関わる指針の一つとして子どもたちの心身の安定と健やかな成長について各ご家庭や地域の皆さんで話題にしていきたいと思います。

- ①早ね☆早おき☆朝ごはん
- ②元気にあいさつ こんにちは
- ③みんなで仲よく外あそび
- ④失敗おそれず レッツ・チャレンジ
- ⑤時間を決めて しっかり勉強

- ⑥授業とつながる おさらいノート
- ⑦本となかよし くしろっ子
- ⑧楽しい食卓 親子の時間
- ⑨言葉づかいは 心づかい
- ⑩感謝をこめてあいがとう



《2条 元気にあいさつ こんにちは》

《9条 言葉づかいは 心づかい》

どちらもコミュニケーションに関わることですね。今回は子ども
のコミュニケーションの力について考えてみたいと思います。

コミュニケーションとは？

人が自分の考えや気持ちを伝え合
うこと、意思疎通や情報伝達のこと

コミュニケーション能力の必要性

近年の社会ではコミュニケーション能力が重要視されつつあります。
理由として、

- ・相手からの信頼を得て、友達との交流をうまく進めることができるから
- ・社会人になってからも円滑に仕事を進めることができるから
- ・人との関わりを増やし、よりよい社会をつくっていくことができるから
などが考えられます。

教育現場でもコミュニケーション能力を高めることに注目が集まり、グル
ープワーク、アクティブラーニングなどの協働的な学習が取り入れられて
います。



グループで
相談しよう

英語で会話
してみよう



しかし

その原因は…

- ・核家族化
- ・IT の進化
- ・地域社会の希薄化
- ・SNS の交流が増え、
対面での接触が減少
- ・コロナ禍の影響

コミュニケーションの苦手
な大人・子どもが増えている？

あいさつ・言葉づかいはコミュニケーション能力と密接に関わっています

子どもの乱暴な言葉づかいをどうするか

なぜ乱暴な言葉を言いたくなるの？

- ・覚えた言葉を使ってみたい
- ・友達が使うから使ってみたい
- ・カッコいいような気がする
- ・複雑な気持ちの表現

モヤモヤしているけど説明が難しいとき、「ウザい」「だまれ」と簡単な言葉で大人を遠ざけようとしているのかも…

乱暴な言葉遣いをしたときの対応

- ・頭ごなしに怒らず、冷静に注意する
- ・言われた人の気持ちを考えさせる
- ・使ってはいけない言葉、場面、相手を教える
- ・別の表現方法を教える

普段から優しい言葉の蓄積を多くしておくことで、とっさのときにそういう言葉が出るようになります！

良い言葉を教えるには？

叱りつけながら「ありがとう」という素敵な言葉を教えることはできません。叱りながらやると、本当の価値がわからないまま、「ママに叱られるからやる」という他律的なものになってしまいます。

出典：親力 <https://www.oyaryoku.jp>

- ・まずは大人が見本となるような言葉を使う
- ・その言葉の価値を教える

こういうときは「ありがとう」
って言おうね

いい言葉が使えたね

「ありがとう」って言
ってくれれば、こっち
もうれしくなるよ

～伝えることが得意な子に～

「学生達は、自分の話に真摯に耳を傾けてもらえていると感じたとき、驚くほど心を開いてくれます。それはその時に生まれる信頼関係によるものです。些細な会話の中から、問題解決の糸口見えてくることも少なくありません」

(<https://note.com>)小松正史「傾聴から生まれる対話の力～聞き上手が育む豊かなコミュニケーション」より

ご家庭においても同じことが言えるのではないのでしょうか。子どもの伝える力を伸ばすのは、真剣に耳を傾けてくれる保護者の存在があってこそです。子どもが話し出したら…

- ・今やっていることの手を止めて
- ・子どもの目の高さで
- ・途中で話をさえぎらずに最後まで聴く
- ・それは間違っていると思ってもいきなり否定せず、いったん受け止める「そんなことがあったんだね」「そっか、そう感じたんだね」
- ・子どもの言葉が不十分な時は、親の言葉で返してあげる「それってこういうこと？」
- ・子どもの心に寄り添いながら、親の考えや気持ちを伝える「お母さんはこう思うよ」(アイメッセージ)

今日から伝え上手な子ども、聞き上手な親をめざしませんか？

～編集後記～

いよいよ冬の寒さが本格化し、家に閉じこもりがちな季節となりました。北海道では冬期間は特に、子どもの運動不足が顕著になるといわれています。時にはゲーム・スマホから離れて、スケートやそり滑りなど、子どもが夢中になれる冬の活動に親子で取り組むのもいいかもしれませんね！（えんどう）

〒085-0016

釧路市錦町2-4

釧路フィッシャーマンズワーフMOO4階

釧路市教育委員会学校指導課学校指導係

電話：0154-23-5189

FAX：0154-25-5999

E-mail:gs-shido@city.kushiro.lg.jp

本号作成 担当者：遠藤・田中